

2020年5月17日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第6号(通算3183号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 【連絡先(牛田)】090-9161-4027 kyuhochurch@koinonia.or.jp

子どもたちもいつでも歓迎します

# しゅうほう 週報

教会標語

かみさま つく  
神様が創られたすべての命を  
たいせつ きょうかい  
大切にする教会

ホームページ「久宝教会」  
(Website)



<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

死は勝利に呑み込まれた。死よ、お前の勝利はどこにあるのか。  
死よ、お前の棘はどこにあるのか。(コリントの信徒への手紙Ⅰ 15:54b-55)

## ふっかつせつだい しゅじつれいはい 復活節第6主日礼拝

《<sup>しんがた</sup>新型<sup>かんせんかくだいぼうし</sup>コロナウイルスの<sup>みな あつ かたち れいはい</sup>感染拡大防止のため、皆で集まる形での礼拝は  
<sup>きゅうし</sup>休止いたします。それぞれの<sup>ばしょ かみさま おぼ れいはい</sup>場所で神様を覚えて礼拝ください。

なおインターネット中継はホームページにて10:30より開始いたします》

まね <sup>ことば</sup> 招きの詞 <sup>しへん</sup> 詩編 <sup>へん</sup> 8編 <sup>せつ</sup> 2-3節

さんび <sup>か</sup> 賛美歌 <sup>ばん</sup> 326番 <sup>ち</sup> 「地よ、声たかく」(©著作権消滅)

せい <sup>しよ</sup> 聖書 <sup>しんと</sup> ローマの信徒への手紙 <sup>てがみ</sup> 8章 <sup>しょう</sup> 31-39節

いの <sup>り</sup> お祈り <sup>ししきしゃ</sup> 司式者

さんび <sup>か</sup> 賛美歌 <sup>ばん</sup> 522番 <sup>ばん</sup> 「キリストにはかえられません」(©JASRAC)

メッセージ <sup>かみさま</sup> 「神様がいっしょにいます」 <sup>うしだ ただし ぼくし</sup> 牛田 匡 牧師

さんび <sup>か</sup> 賛美歌 <sup>ばん</sup> 492番 <sup>かみ</sup> 「み神をたたえる心こそは」(©教団讚美歌委員会)

しゅ <sup>いの</sup> 主の祈り <sup>ページ</sup> (2頁をご参照ください)

ささ <sup>もの</sup> 献げ物 (\*)

は <sup>けん</sup> 遣 <sup>ばん</sup> 91番 <sup>かみ めぐ</sup> 「神の恵みゆたかに受け」(©JASRAC)

しゅ <sup>く</sup> 祝 <sup>ふく</sup> 福 <sup>うしだ ただし ぼくし</sup> 牛田 匡 牧師

こう <sup>そ</sup> 後 <sup>ばん</sup> 奏 <sup>ばん</sup> アーメン コーラス (40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう <sup>こ</sup> 報 <sup>ページ</sup> 告 (4頁をご参照ください)

\* 神様への「感謝と献身」を覚えてお祈りください。

「献金」のご用意のある方は、それぞれの身近で今必要とされている方々  
にお献げください。

## 招きの詞 詩編 8 編 2-3 節

<sup>2</sup>主よ、我らの主よ

御名は全地でいかに力強いことか。

あなたは天上の威厳をこの地上に置き

<sup>3</sup>幼子と乳飲み子の口によって砦を築かれた。

敵対する者に備え

敵と報復する者を鎮めるために。

## 聖書 ローマの信徒への手紙 8 章 31-39 節

<sup>31</sup>では、これらのことについて何と言うべきでしょう。神が味方なら、誰が私たちに敵対できますか。<sup>32</sup> 私たちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものを私たちに賜らないことがあるでしょうか。<sup>33</sup> 誰が神に選ばれた者たちを訴えるでしょう。人を義としてくださるのは神なのです。<sup>34</sup> 誰が罪に定めることができますでしょう。死んだ方、否、むしろ復活させられた方であるキリスト・イエスが、神の右におられ、私たちのために執り成してくださるのです。<sup>35</sup> 誰が、キリストの愛から私たちを引き離すことができますでしょう。苦難か、行き詰まりか、迫害か、飢えか、裸か、危険か、剣か。

<sup>36</sup>「私たちはあなたのゆえに、日夜、死にさらされ

屠られる羊と見なされています」

と書いてあるとおりで。 <sup>37</sup> しかし、これらすべてのことにおいて、私たちは、私たちが愛してくださる方によって勝って余りあります。<sup>38</sup> 私は確信しています。死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、<sup>39</sup> 高いものも深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできないのです。

## 主の祈り (日本聖公会・カトリック教会共同訳)

天におられる私たちの父よ、み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われる通り、地にも行われますように。

私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。

私たちの罪をおゆるしてください。私たちも人をゆるします。

私たちが誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。 アーメン。

## 《先週のメッセージより》5月10日 家族の日（復活節第5主日）礼拝

「みんな神様の家族です」

牛田 匡 牧師

聖書：エフェソの信徒への手紙 2章17-19節

今日は「母の日」です。「母の日」は亡き親を偲んだ記念会が持たれたことから始まったそうですが、お世話になった方を思い、感謝する日であるならば、その対象は母に限らず、父でも祖父母でも、また血縁を越えた「家族」でもよいわけですから。ですので、私たちの教会では「家族の日」礼拝をしています。

今回の聖書は「エフェソの信徒への手紙」の中から、「神の家族」について述べられている箇所でした。ここで「神の家族」と訳されている言葉は、直訳すると「神の家の者」です。それは血縁だけではなく、奴隷や召使たちをも含む概念です。それらの人たちが皆が「神の国に住む資格を与えられた『神の家の者』になりました」ということです。つい私たちは、家族や兄弟間でも、年齢の上下や、一緒に暮らしている時間の長短など、様々なことで優劣や順序をつけてしまいます。今回の聖書も、それが執筆された背景として、紀元1世紀の初代の教会においてすら、「ユダヤ人か、異邦人か」「ユダヤ教の出身か、そうではないか」など、お互いの間に線を引き、優劣や序列を付けようとする動きがありました。しかし、イエス・キリストは、その十字架によってそのような線引き、対立や敵意を滅ぼし、今まで対立していた人たちをも、同じ神様の一つの霊を共に持つ者とされました。それ故に「あなたがたは、もはやよそ者でも寄留者でもなく、聖なる者たちと同じ民であり、神の家族の一員です」と言われています。命の創り主である神様が創られたこの世界の全て、みんなが神様の家族です。イエス様が十字架で示されたその愛は、対象を限定するものではなく、全ての人に向けられたものでした。その事実の上に立っているからこそ、私たちは自身の能力や成果の如何に関係なく、神様と共にある平和な生き方へと今日も招かれて行くことができます。

先週、新型コロナウイルスのための「緊急事態宣言」が延長されました。医療や介護、家庭、企業などの様々な現場で、多くの人たちが痛みを覚えつつ懸命に暮らしている日々ですが、その一方で差別や暴力も目立つようになって来ています。私たちの「家族」はどこにいらっしゃるのでしょうか。「誰があなたの家族ですか」というこの問いは、イエス様が問いかけた「あなたは誰の隣人となりますか」という問いと同じものとして響いて来ます。家の外にも家族がいます。他人事で済ませない。コロナと共に生きる時代の新しい社会は、そこから始まるのではないのでしょうか。「みんな神様の家族です」。命の神様から生かされている私たちは、この事実を旨に今日もそれぞれの場所にあって歩み出して行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (5月10日)

礼拝出席 大人3名 子ども1名 献金 大人4,000円 子ども500円 感謝  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、「緊急事態宣言」が発令されているため、  
教会に皆で集まることは休止し、礼拝の中継をインターネットで配信いたしました。

◎次週 2020/5/24 復活節第7主日礼拝 (皆で集まったの礼拝は休止する場合があります)

招きの詞 詩編 46編 2-4節


聖書 ヨハネによる福音書 7章 37-39節

メッセージ「立ち上がって大声で」 水谷憲牧師

賛美歌 21-17番 (©配信可) 1954-159番 (©配信可) 21-432番 (©配信可)

- ・毎月第4日曜日に行っている釜ヶ崎・いこい食堂への「おにぎり支援」は、特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」では行いません。

◎ お知らせ

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、全国で「緊急事態措置」がとられています。大阪府でも、休業要請の段階的解除が始まったとはいえ、5月31日まで緊急事態措置は継続されています。教会がある久宝まぶねこども園も臨時休園を継続しています。緊急事態措置が継続され、外出や集会の自粛が要請されている間は、皆で集まる形での礼拝は休止いたします。今後も、教会からの最新情報は、ウェブサイト、Facebook、LINE公式アカウント等で引き続きお伝えしていきます。
- ・礼拝の中継をインターネットで配信しています (Facebook の LIVE 動画)。教会のホームページ (<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>) にて、どなたでもご視聴いただけます (無料・Facebook への登録も不要です)。賛美歌の著作権を守るために、配信できない部分もありますが、ご視聴可能な方はご自宅等で共に礼拝して頂ければと思います。なお「週報」「メッセージ(全文)」もホームページよりダウンロードすることができますので、ぜひご利用ください。 (ホームページのQRコード⇒) 
- ・教会学校・まぶねっこクラブで5月30日(土)に予定されていましたが和歌山県かつらぎ町にある大浦農園での「縁農」(釜ヶ崎・いこい食堂支援)は、コロナ対策のために大人たちだけで玉ねぎの収穫作業をすることになりました。

◎ 公告

先月より延期しておりました「2020年度定期教会総会」は、集会の再開の目途が立たないために、役員会にて検討した結果、書面決議となりました。教会員の方には、郵送・メール等で議案書をお送り致しましたので、同封されている「議決権行使書」にご記入の上、5月30日(土)必着で、郵送・メール・FAX等でご提出ください。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

(\*外出・集会の自粛が解除されるまでは、皆で集まることはいたしません)

	会場	司式	奏楽	メッセージ	行事
5/24	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	—	—	水谷牧師	(おにぎり支援?)
5/31		—	—	牛田牧師	ペンテコステ礼拝 聖餐式?・誕生者祝福式?
6/7				牛田牧師	聖餐式?・役員会?
6/14				牛田牧師	(教会創立61周年記念礼拝) 花の日こどもの日